

Step 7 より

Step 8 プリンタのプロトコル設定

ここでは、TCP/IPネットワークで本プリンタを使用するためのプロトコル設定の方法を記載しています。
AppleTalkネットワークで本プリンタを使用するためのプロトコル設定の方法については、本プリンタに付属の「取扱説明書CD-ROM」に収められているネットワークガイド/本編に記載してあります。

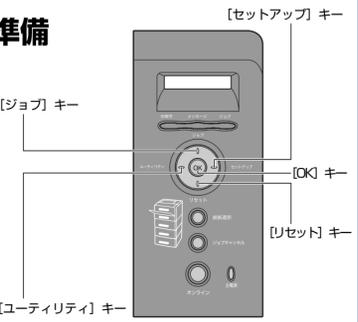
プリンタのプロトコル設定の準備

プリンタのプロトコル設定の準備 (IPアドレスの設定) する方法は、次の3つあります。

- ・プリンタの操作パネルによる設定
- ・NetSpot Device Installerによる設定
- ・ARP/PINGコマンドによる設定

ここでは、プリンタの操作パネルによるプロトコル設定の準備 (IPアドレスの設定) の手順を記載しています。NetSpot Device Installer、ARP/PINGコマンドの設定方法については、本プリンタに付属の「取扱説明書CD-ROM」に収められているネットワークガイド/本編に記載してあります。

※ [ジョブ] キーを押すと、ひとつ前のメニュー (上の階層) へ戻ります。



- 1 [セットアップ] キーを押して、[ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「インタフェース」を選択したあと、[OK] を押します。
ディスプレイに「インタフェース センタク」と表示されます。
- 2 [ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「ヒョウジュンネットワーク」を選択したあと、[OK] を押します。
ディスプレイに「TCP/IP セッテイ」と表示されます。
- 3 [ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「TCP/IP セッテイ」を選択したあと、[OK] を押します。
ディスプレイに「IPモード」と表示されます。
- 4 LBP3980をお使いの場合は、[ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「IPv4 セッテイ」を選択したあと、[OK] を押します。
LBP3930/3910をご使用の場合は、手順5へ進みます。

- 5 [ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「IPモード」を選択したあと、[OK] を押します。
ディスプレイに「=シユドウ」と表示されます。

- 6 IPアドレスの設定方法を選択します。

Point

- ・DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用してIPアドレスを設定する場合
[ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「ジドウ」を選択したあと、[OK] を押します。
- ・プリンタに直接IPアドレスを割り当てる場合
[ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「シユドウ」を選択したあと、[OK] を押します。
- ・DNS動的更新機能の設定をする (→「プリンタのプロトコル設定」の手順6)
プリンタの起動時に常に同じIPアドレスを割り当てるように設定する (→ネットワーク管理者)

- 7 プリンタのIPアドレスを設定します。

- 手順6で「ジドウ」を選択した場合
 1. [ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「プロトコル」を選択したあと、[OK] を押します。
 2. [DHCP]、[BOOTP]、[RARP]をそれぞれ「オン」(使用する)か「オフ」(使用しない)に設定します。
設定方法:
① [ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「[DHCP] または [BOOTP]、[RARP]」を選択し、[OK] を押します。
② [ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「オン」または「オフ」を選択し、[OK] を押します。
- 手順6で「シユドウ」を選択した場合
 1. [ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで「アドレス」を選択したあと、[OK] を押します。
 2. [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を設定します。
設定方法:
① [ユーティリティ] キー、[セットアップ] キーで目的のフィールドを選択します。
② [ジョブ] キー、[リセット] キーで目的の数値を選択します。
③ すべてのフィールドに対して、①~②を繰り返します。
④ [OK] を押します。

- 8 プリンタの電源を入れなおします。

プリンタのプロトコル設定

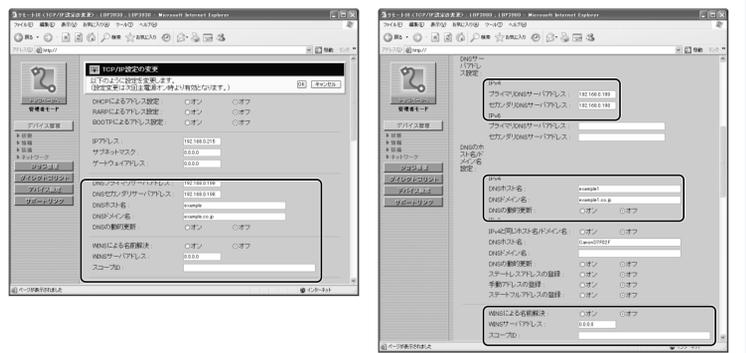
プリンタのプロトコル設定をする方法は、次の2つあります。

- ・リモートUIによる設定
- ・FTPクライアントによる設定

ここでは、リモートUIによる主なプロトコル設定の手順を記載しています。詳細なプロトコル設定やFTPクライアントによる設定方法については、本プリンタに付属の「取扱説明書CD-ROM」に収められているネットワークガイド/本編に記載してあります。

- 1 Webブラウザを起動して、アドレス入力欄に次のURLを入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。
http://<プリンタのIPアドレス>/
入力例: http://192.168.0.215/
- 2 [管理者モード] を選択したあと、[OK] をクリックします。
- 3 [デバイス管理] のメニューから [ネットワーク] を選択します。
- 4 [TCP/IP] の右にある [変更] をクリックします。

- 5 必要に応じてA~Bの項目を設定します。

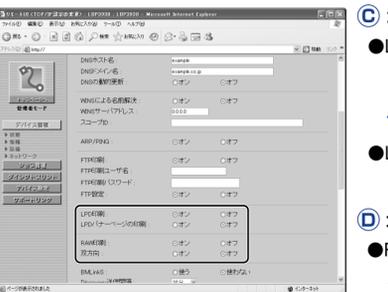


- A: DNSサーバ、DNSの動的更新機能を使用する場合は、DNSを設定します。
これらを使用しない場合は、Bに進みます。
1. [DNSプライマリサーバ(アドレス) / [プライマリDNSサーバ(アドレス) に、プライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
 2. [DNSセカンダリサーバ(アドレス) / [セカンダリDNSサーバ(アドレス) に、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
 3. [DNSホスト名] に、DNSサーバに登録する本プリンタのホスト名を設定します。
 4. [DNSドメイン名] に、本プリンタの所属するドメイン名を入力します。
 5. DNSサーバへの動的更新機能を使用する場合は、[DNSの動的更新] を [オン] に設定します。
- B: WINSを設定します。
WINSを使用しない場合は、手順6に進みます。
- WINSによる名前解決を使用する場合
 1. [WINSによる名前解決] を [オン] に設定します。
 2. [WINSサーバアドレス] に、WINSサーバのIPアドレスを入力します。
 3. 必要に応じて [スコープID] を入力します。
 - WINSによる名前解決を使用しない場合
 1. [WINSによる名前解決] を [オフ] に設定します。



Step 8 のつづき

- 6 必要に応じてC、Dの項目を設定します。



- C: LPD印刷を設定します。
 - LPD印刷を使用する場合
 1. [LPD印刷] を [オン] に設定します。
 2. パナページを印刷する場合は、[LPDパナページの印刷] を [オン] に設定します。
 - LPD印刷を使用しない場合
 1. [LPD印刷] を [オフ] に設定します。
- D: Raw印刷を設定します。
 - Raw印刷を使用する場合
 1. [RAW印刷] を [オン] に設定します。
 2. 双方向通信を行うときは、[双方向] を [オン] に設定します。
 - Raw印刷を使用しない場合
 1. [RAW印刷] を [オフ] に設定します。

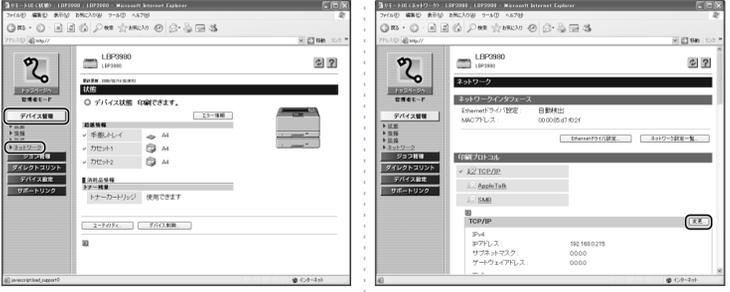
- 7 設定が終了したら、[OK] をクリックします。



IPv6を使用するための設定 (LBP3980のみ)

ここでは、IPv6の設定を行います。IPv6の設定は、IPv4の設定後、リモートUIを使用して行ってください。詳細な設定方法については、本プリンタに付属の「取扱説明書CD-ROM」に収められているネットワークガイド/本編に記載してあります。
* LBP3930/3910ではIPv6は、ご使用にできません。

- 1 Webブラウザを起動して、アドレス入力欄に次のURLを入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。
http://<プリンタのIPアドレス>/
入力例: http://192.168.0.215/
- 2 [管理者モード] を選択したあと、[OK] をクリックします。
- 3 [デバイス管理] のメニューから [ネットワーク] を選択します。
- 4 [TCP/IP] の右にある [変更] をクリックします。



- 5 必要に応じてA~Dの項目を設定します。



- A: [IPv6] を [オン] に設定します。
- B: ステートレスアドレスを使用する場合は、[ステートレスアドレス] を [オン] に設定します。
ステートレスアドレスを使用しない場合は、[オフ] に設定し、Cに進みます。
- C: 手動アドレスを使用する場合は、次の設定を行います。
手動アドレスを使用しない場合は、手順Dに進みます。
 1. [手動アドレス] を [オン] に設定します。
 2. [IPアドレス] を入力します。
 3. [プレフィックス長] を入力します。
 4. 必要に応じて、[デフォルトルータアドレス] を入力します。
- D: ステートフルアドレスを使用する場合は、[DHCPv6] を [オン] に設定します。
ステートフルアドレスを使用しない場合は、[DHCPv6] を [オフ] に設定し、手順Eに進みます。

- 6 必要に応じてE~Fの項目を設定します。



- E: DNSサーバを使用する場合は、DNSを設定します。
DNSサーバを使用しない場合は、手順Fに進みます。
 1. [プライマリDNSサーバ(アドレス) に、プライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
 2. [セカンダリDNSサーバ(アドレス) に、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
 3. [DNSホスト名] と [DNSドメイン名] に、IPv4と同じ名称を使用する場合は、[IPv4と同じホスト名/ドメイン名] を [オン] に設定します。
 4. IPv4とは異なる名称を使用する場合は、[DNSホスト名] と [DNSドメイン名] を入力します。
- F: DNSの動的更新機能を使用する場合は、次の設定を行います。
DNSの動的更新機能を使用しない場合は、手順7に進みます。
 1. [DNSの動的更新] を [オン] に設定します。
 2. [ステートレスアドレスの登録] を設定します。[オン] に設定すると、ステートレスアドレスをDNSサーバに登録します。
 3. [手動アドレスの登録] を設定します。[オン] に設定すると、手動アドレスをDNSサーバに登録します。
 4. [ステートフルアドレスの登録] を設定します。[オン] に設定すると、ステートフルアドレスをDNSサーバに登録します。

使用するCD-ROM

- ・Windows 2000/XP/Sever 2003/Vista
- ・Windows 98/Me
- ・Mac OS X

付属のCD-ROMにWindows 98/Me用プリンタドライバは同梱されておりません。Windows 98/Meに対応したプリンタドライバは、キヤノンホームページ (http://canon.jp/) からダウンロードしてください。
LBP3980はWindows 98/Meに対応していません。



本プリンタに付属の「取扱説明書CD-ROM」に収められているLIPSソフトウェアガイドをご覧になり、プリンタドライバをインストールしてください。

